

事業報告

<研修名>

令和2年度 学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業
第1回「地域学校協働活動」関係者研修

<開催日時・会場>

県北地区：令和2年7月28日（火） 宇佐市安心院支所
県央地区：令和2年7月30日（木） 大分県立図書館
県南地区：令和2年7月31日（金） 豊後大野市中央公民館

<参加人数>

県北地区：56名 県央地区：21名 県南地区：20名

<研修趣旨>

コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動を推進するため、地域学校協働活動推進員、「協育」ネットワーク関係者等を対象に、行政説明や情報交流をとおして活動の意義と連携の方策について学ぶ場とする。

<研修内容>

【説明】▼行政説明 「分担から連携、支援から協働へ
～パートナーとしての学校との関係づくり～」
説明：大分県教育庁社会教育課 指導主事 栗本 寛

3地区すべて、行政説明を行いました。

国東市・由布市・中津市の事例を取り上げ、地域学校協働活動の意義や必要性、コミュニティ・スクールとの連携、開かれた教育課程等について説明しました。

最後に、これからの「協育」ネットワーク活動の充実に向けて、「鳥の目（全体像をとらえる）」「虫の目（細部に目を向ける）」「魚の目（時代の流れを意識する）」をもって取り組んで欲しいとまとめました。

【協議】▼リレートーク（参加型意見交換）

テーマ「地域と学校がつながるために～推進員・コーディネーター等の役割」

登壇者：県北地区6名（中津市、豊後高田市、宇佐市、国東市）

県央地区5名（別府市、杵築市、日出町、由布市）

県南地区6名（臼杵市、津久見市、佐伯市、竹田市、豊後大野市）

ファシリテーター：大分県立図書館 学校・地域支援課

3地区すべて、リレートークを行いました。

リレートークを参加型意見交換と位置付け、会場全体でテーマについて話合いました。登壇者は、各市町において「協育」コーディネーター等を務められています。日頃、取り組みに対する困りや課題等を話ながら、地域学校協働活動推進員やコーディネーター等の役割について考えていきました。

地域学校協働活動に対する「人材の発掘・育成」「必要性和重要性についての普及・啓発」「多様化と継続化」「推進体制や環境整備」等、いろいろとご意見をいただきました。「地域が学校を育て、学校が地域を育てる」という好循環をつくっていくことが地域の力だと感じる意見交換の場となりました。

<当日の様子(写真)>

【説明】▼行政説明
教育庁社会教育課 栗本指導主事



【協議】 県北地区
▼リレートーク(登壇者)



【協議】 県北地区
▼リレートーク(フロア)



【協議】 県央地区
▼リレートーク(登壇者)



【協議】 県央地区
▼リレートーク(フロア)



【協議】 県央地区
▼リレートーク(全景)



【協議】 県南地区
▼リレートーク（登壇者）



【協議】 県南地区
▼リレートーク（フロア）



<参加者感想>

- 地域と共にある学校づくりを行うために地元愛のある仲間作り、アンテナを広げていきたい。
- 事例を含めた意見交換が聞いて参考になった。コーディネーターの役割の難しさを認識する機会となった。
- 子どもたちのためにできることを見つけたくさんの人とつながっていききたい。
- PTAとCSとの連携をこれからはもっと深めたい。
- エリアを分けてそれぞれの地区の担当者が交流できるような研修をこれからも続けて欲しい。